

袖ヶ浦さつき台病院からのお知らせ

再来受付機・自動精算機を導入いたしました

外来の混雑緩和及び患者様の待ち時間短縮の為、平成30年4月2日より稼働を開始いたしました。

また、導入に伴い、受付場所と受付時間が下記のように変更になっておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



左が自動精算機、右が再来受付機となります。

受付場所 初診・予約のない方
総合窓口にお越しください。

再診で予約のある方
再来受付機にお越しください。

※今後は第二受付での受付は出来ませんのでご注意ください。

受付時間 8:00 ~ 16:45

診察の呼び出しについては、全ての医師で共通して予約時間(30分)枠内での受付時間順となります。



SATSUKI's Kitchen

チキントマトカレー



材料(2人分)

- 鶏もも肉 …… 200g
- ※塩 …… 少々
- こしょう …… 少々
- 酒 …… 少々
- 玉ねぎ …… 2個
- トマト缶 …… 1/2缶
- カレー粉 …… 適量 (カレールウ 1/4)
- コンソメ …… 1個

作りかた

- 鶏肉は一口大に切り、塩・こしょう・酒で下味を付ける。
- 玉ねぎはみじん切りにする。
- フライパンに油をひき、皮を下にして焼き色を付ける。お好みでんにくを入れても美味しく仕上がります。
- 焼き色が付いたら、玉ねぎ・トマト缶・コンソメを入れて炒める。
- 水150~200ccを加え、弱火で煮込む。水分が足りない場合は少量ずつ足してください。
- 煮えたらカレー粉(又はルウ)を入れれば出来上がり!

夏バテ防止

栄養量(1人分) 脂質 17.6g / エネルギー 398kcal / 炭水化物 41.7g / たんぱく質 23.5g / 食塩相当量 1.8g

ポイント

カレー粉に含まれるスパイスは漢方薬にも多く使用されています。また、辛み成分は消化液の分泌を促し食欲増進効果もあると言われております。カレー粉はルウに比べ、脂肪や塩分が少ないためヘルシーです。トマトにはビタミンCやカリウムが多く含まれており、夏バテ防止に役立ちます。またリコピンを多く含み、抗酸化作用による生活習慣病や動脈硬化予防に期待されています。油と一緒に摂取することで吸収が高まります。暑い日が続く、食欲が無いときや疲れを感じたときは是非お試しください。(栄養課 管理栄養士 小倉梢)

広報誌さつき次号発行は、平成31年1月となります。

*最新のお知らせはホームページをご覧ください。

袖ヶ浦さつき台病院 検索



社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人 さつき会

- 袖ヶ浦さつき台病院 代表 0438-62-1113
- 外来予約センター 直通 0438-60-1141
- 〒299-0246 袖ヶ浦市長浦駅前5-21 (日、祝祭日を除く/受付時間 8:30 ~ 16:00)
- 広報誌 事務局：袖ヶ浦さつき台病院 総合広域リハケアセンター 直通 0438-38-3088



さつき会 広報誌

地域と共に歩む

さつき

7号

2018年7月発行

編集・発行 さつき会
社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人 さつき会
TEL 0438-62-1113(代表)
http://www.satsuki-kai.or.jp/

特集

地域にむけてのさつき会の取り組み

リハビリテーション科診療を担う医師



リハ科・整形外科・脳神経外科・神経内科・総合内科の専門医が診療に当たっています。

リハビリテーション科外来の紹介

当院で回復期リハビリテーション病棟が開設されてから5年が経過しました。お蔭様で地域の多くの皆さまにご利用いただき、感謝申し上げます。リハビリテーション科では、急性期・回復期のみならず地域生活期の診療も積極的に行っています。

外来では、①義肢装具療法、②痙縮治療(ボツリヌス療法)、③嚥下リハビリ、④自動車運転評価、⑤職業復帰支援、⑥短期入院集中リハビリの相談などを中心に取り組んでおります。生活を妨げる障害の姿は様々ですが、実用的な日常生活の実現に向けて、チームで努力していく所存ですので、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療部リハビリ科 部長 村上峰子



リハケア外来の様子



装具外来の様子

リハビリテーション科外来についてのお問い合わせ ☎ 予約センター 0438-60-1141

病院と地域をつなぐ 地域生活サポート部門の紹介

さつき台訪問看護ステーション

～笑顔と希望をお届けします～

お問い合わせ 0438-64-1056

訪問看護とは主治医(かかりつけ医)の指示のもと、看護師やリハビリ専門職がご自宅などの生活の場へ定期的に訪問し、その方の病気や障害に応じた看護や実際の生活環境に即したリハビリを行うサービスです。在宅でその人らしく安心して過ごせるよう、主治医や医療・介護の関係者と連携しながら予防から看取りまでを支援させていただきます。

【ご利用対象者】

在宅で療養される全ての方が対象となります。

【ご利用頂くには…】

直接訪問看護ステーションへ連絡又はケアマネジャー、主治医、病院相談員へご相談ください。

訪問看護の様子



屋外での歩行リハビリの様子



さつき会ケアマネセンター

～介護の相談お受けします～

お問い合わせ 0438-64-2245

さつき会ケアマネセンターでは、私たちケアマネジャーが介護保険制度の説明から申請代行、介護に関する様々な相談をお受けしています。住み慣れた地域で安心して生活ができるよう真心を持って支援致します。

【介護保険サービスを受けるには…】

ケアプラン(居宅サービス計画)の作成が必要です。介護に関してのお困りごとをお聞きし、一緒に考えながら適切なプランを作成します。作成したケアプランを基に介護ヘルパー、デイサービス、福祉用具レンタルなどの各種介護サービスをご利用頂きます。

【ご利用頂くには…】

介護相談、ケアプランの作成は無料です、どなたでもお気軽にご相談ください。お電話でも直接来て頂いても大丈夫です。



ケアセンターさつき

地域活動支援センターI型、指定相談事業所

～一人ひとりの立場に立ち、地域での生活を支援します～

お問い合わせ 0438-60-1501

地域で生活している精神に障がいをお持ちの方や、ご家族の方々が安心して暮らすための支援をしています。

- 日中どこかへ出かけ、生活リズムを整えたい。
- 体調の良い時などに、気軽に行ける場所が欲しい。
- のんびりと出来る居場所や憩いの場が欲しい。

ケアセンターさつきは、いつ来ても、いつ帰っても良い、一人ひとりの目標に合わせて利用することができる場所です。各種プログラムの実施や、電話・面談による相談も行っています。



相談支援事業

多様化する障害福祉サービスの申請や利用に関する相談支援など、トータル的なサポートを行っています。県と市より相談支援事業所の指定を受けています。

開所時間 9:00～18:00

総合広域リハケアセンター

～地域とのつながりを大切にしています～

お問い合わせ 0438-38-3088

地域住民の方々の声を聴く機会を持ち、真のニーズを知り、さつき会としてどのような地域貢献ができるかを提案していけるセンターでありたいと考えています。当センターは地域との連携を高めるための様々な業務・活動を行っています。

- ★広報誌さつきの作成
- ★介護職対象認知症研修
- ★布アート活動支援
- ★地域住民向け講演会の企画・運営
- ★NPO法人袖ヶ浦げんきか〜いへの支援等。

小さなセンターですが、大きな地域貢献ができるよう職員一同で頑張っています。リハケア棟1階に地域での活動やイベントのご案内も常時掲示しておりますので、一度お立ち寄り下さい!



施設と地域をつなぐ「リハビリ専門職の取り組み」

社会福祉法人さつき会では、袖ヶ浦さつき台病院リハビリ職員の派遣も3年目となり、ご利用者・ご家族・ケアマネジャーからもリハビリについてのお問い合わせが増えております。そこで、各施設での取り組みを紹介いたします。

特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑

デイサービスでの専門職によるリハビリ

菜の花苑では、6人程度の集団で他のご利用者と一緒に運動する機会を増やすことで、活気あるリハビリを実施しており、基本動作の介助量が軽減し、見守りでも実施できる人が増えてきています。

その他にも、関節痛がある方に対してストレッチによる疼痛緩和や、トレーニングマシンを使ったパワリハ、歩行訓練などその方の状態に応じたリハビリを提供し、痛みの軽減や転倒リスク軽減に繋がっています。

また、施設内活動だけでなく、地域の集まりにも顔

を出させていただき、体操教室を実施するなど、地域に向けたリハビリにも力を入れています。

お困り事がある際には、お気軽にご連絡を頂ければと思います。



TEL 0438-63-7736

特別養護老人ホーム つつじ苑

生きがいに繋がるリハビリ専門職の活動

つつじ苑では、『生きがい』・『やりがい』・『楽しみ』の大きな目標達成の為にリハビリ専門職が大活躍しています。数ある活動の中より一つを紹介させていただきます。

調理サークルの活動ではまずグループで何を調理するのか?話し合いで調理メニューを考え、調理に必要な素材を地域の店へ購入に出かけ、調理工程の全てを体験頂いております。調理と言う多重課題、皆で作る楽しみなど活動を通じて生きがいや生活力の向上を目指します。

その他にも沢山の活動を行っておりますがつつじ苑をご利用頂いた皆様の『生きがいづくり』に力を入れ、益々チャレンジした活動を続けて参りたいと思います。



TEL 0439-87-6101

介護老人保健施設 カトリアンホーム

一人一人に応じた自立支援を

カトリアンホームでは、多職種が一体となって自立支援に取り組み、リハビリ専門職はそのけん引役を担っています。

リハビリでは、専門職と1対1で行う個別リハビリを中心に、マシントレーニング・温水プール内での運動・立ち上がりや歩行を強化する起立歩行訓練をおこなっています。マヒが重度な方々へは、関節の動きが悪くならない為の運動や、個人個人の目標に合わせた複数のプログラムを実施しています。また定期的に体力測定をおこないその結果を、介護予防への取り

組みにも活かしています。『いつまでも元気でいたい』『できる事を頑張りたい』など、ご利用者様のお気持ちに全力でお応えしたいと考えております。



TEL 0438-63-1021



フ ラ ワ ー



No.82

お知らせ

広報誌「フラワー」は平成14年より81回に渡り医療情報をお伝えしておりましたが、今号より広報誌さつきの1ページとして記載されることになりました。よろしくお願いいたします。

特定看護師が支援を目指す 「住み慣れた場所で自分らしく」

平成20年に国が行った「終末期医療に関する調査」では、多くの国民が自宅等の住み慣れた環境での療養を望んでいることがわかりました。また、超高齢社会を迎え、医療機関や介護保険施設等の受入れにも限界が生じることも予測されています。在宅医療では、精神的安定を得られることがメリットといわれる一方で、家族の負担が問題となります。



厚生労働省は、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立に向けた生活支援を目的とし、重度な要介護状態となっても「住み慣れた地域で自分らしい暮らし」を人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の実現に向けた取り組みを行っています。

このような社会の中では、地域においてもより高度な医療、介護が求められるようになっていきます。在宅医療の中心を担う看護師も、必要な処置を適切なタイミングで行うことが求めら

れ、「特定行為にかかる看護師(通称:特定看護師)」が育成されるようになりました。特定看護師は医学的視点での研修を行い、専門領域ごとに、今まで看護師が行っていなかった診療の補助を行います。例えば精神科領域においては、精神的に不安定な方に対して、「薬を処方する」といった行為です。自宅で、落ち着かない状況になったとき、今までは病院の受診や往診を受けなければもらえなかった薬が、訪問した特定看護師によって緊急的に処方できるようになりました。他にも薬についての専門的なアドバイスや不調の原因について分析し、スムーズな受診につなげることができます。内科領域では、脱水状態の方に対して点滴を処方したり、糖尿病の方のインスリンの単位の変更を行ったりすることもできます。まだ、あまり広く知られていない特定看護師ですが、専門的な知識と技術を持ち、自宅療養の方法について選択の幅を広げ、ご家族をさまざまな角度からサポートしたいと思えます。「住み慣れた場所で自分らしく」と考える皆さんに、期待されるような支援を目指してまいります。

(看護部 特定看護師 東海林宏美)



出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告「地域包括ケアシステムと地域マネジメント」

袖ヶ浦さつき台病院

整形外科医の紹介

地域の皆様、はじめまして。2017年12月より当院の整形外科常勤医として入職しました鄭在夏(ていざいか)と申します。私は大学卒業後7年ほど会社員として働いていた時、仕事仲間が様々なことで精神的・肉体的な不調を訴えるのを目の当たりにしました。そして、**人の健康の役に立つ仕事がしたい**と思い医学部に入りなおし、整形外科医として今日にいたっています。また、リハビリテーション医としても日々研鑽を積みながら地域の方々に適切な医療を提供できるよう努力しております。

皆様の体の様々な部位で起こる痛みやしびれ、運動機能障害といった不調や、急な怪我、リハビリについてお気軽にご相談ください。若輩者ですが宜しくお願いいたします。



当院の整形外科は、鄭医師も加わり常勤2名体制となり手術も積極的に行っています。

病棟ボランティアさんの紹介

ハツ手グループによる当院での唄と踊りの活動は今年で約20年となります。15年程活動して下さっている五味圭子さんは「**やりがいがあって、患者さんが喜んでくれるととっても踊りを上手くなろうと励まされるんです**」と笑顔で語って下さいました。司会を務めて下さっている藤村啓子さんは、自分の出来ることがあればという想いで活動を始められ、「**人のお役に立てることがうれしい**」と話して下さいました。病棟での活動日には、まず患者さんと共に唄を歌い、五味さんによる踊りの披露、そしてみんなで踊りを楽しむひと時となっています。患者さんからは「また来てね」の声が。お二人は「私たちを呼んでいただけることがうれしくて感謝しています」と何度も口にされていました。



♥五味さん、藤村さんありがとうございます。また、平成30年2月まで活動して下さった春山きくゑさん、増田愛さんありがとうございました。

水虫のはなし

～かゆくなくても水虫なの?～

夏は素足になる機会が多いですね。足の皮が所々剥けていて、さらに足の指や縁にプツプツと水ぶくれができていたりなどの症状があれば水虫を疑い検査をします。痒いからといって全て水虫ではありませんし、菌が見つからない場合は湿疹の治療をすることもあります。また、爪の一部が線状または帯状に白色からクリーム色に変色して、爪が分厚くなってきている場合は爪の水虫を疑います。

爪の水虫は、市販の抗真菌薬(薬局で買える水虫のクリームや液剤)では治すことができません。必ず病院を受診することをお勧めします。爪の変色した部分から菌が検出されたら診断が確定します。以前は内服薬で治療しましたが、ここ2、3年で爪白癬(爪の水虫)用の外用治療薬で治すこともできるように

なりました。他の疾患で内服薬が多いなどの理由で治療を敬遠されていた方もぜひ皮膚科を受診してみてください。

(さつき台クリニック 医師 鎌田千華)



爪の先から白くなっている爪白癬



分厚くなって色も濁っている爪白癬

さつき台クリニックへのお問い合わせは ☎0438-60-2667